

VPSサーバー（Xserver VPS）：Webアプリを自分のサーバーで動かすとき

VPSが必要なき、Xserver VPSの現状（新規受付の一時停止）と、いま申し込めるVPSクラウドの料金・オプション・構成例（公式カタログ）、見落としやすい注意、防犯の初期設定、設置の流れ、取次店のお申し込みフォーム（広告表示つき）

更新日：2026-10-03（2026年10月時点の情報） | HUMAC 伊藤晴通

対象ツール：Claude Code

考え方は、どのAIエージェントにも共通です。ただし、**ファイル名・画面・設定・コマンドは、Claude Code**（Claudeのデスクトップアプリの「Code」タブ）の場合です。ほかのAIエージェントでは、読み替えが必要です。

対象の方：開発者ではない方（経営者・事務・現場の担当者）。プログラミングは不要です。**コードは書かず、AIエージェントに頼んで、自分の業務アプリをつくる**ところまでを、順に進めます（ターミナルの黒い画面は、使わない形で書いています）。

広告（取次店）と、受付状況についてのお知らせ（2026年10月3日時点）

- **広告**：講師（株式会社ヒューマック 伊藤）は、エックスサーバーの**取次店**です。この資料の8章には、講師の「申し込みフォーム」のリンクが載っています。このリンクからお申し込みいただくと、講師に、取次の報酬（紹介料・手数料など）が支払われる場合があります。資料の内容は、公式の情報にもとづいて書いています。このリンクを使わずに、エックスサーバーに直接申し込むこともできます。
- **受付状況**：エックスサーバーの公式のお知らせによると、「**XServer VPS**」は、**全プランで、2026年9月17日から新規の受付を一時停止**しています。**再開は、2026年11月中の予定**です（既存の契約者は、追加の申し込みができます）。代わりに、新しいサービス「**XServer VPS クラウド**」（2026年8月31日開始）が案内されています。**VPS クラウドは、講師の取次店のお申し込みフォームの対象外で、エックスサーバーに直接お申し込みいただく形になります**（講師への報酬は、この資料のリンクからは生じません）。受付の状況は、変わることがあるので、申し込みの前に、公式のお知らせで必ず確認してください。

VPSは、「自分専用の小さなサーバー」を借りること

AIエージェントに作ってもらったWebアプリは、まず、E5の Supabase と Cloudflare で動かせるか、考える。それで足りない場合に、**VPS（仮想専用サーバー）**を借りて、自分でアプリを設置する。借りるのは「サーバーという建物の、1フロア」。鍵（管理者の権限）は、**すべて自分が持つ**代わりに、**OSの更新・防犯・バックアップも、自分の責任**になる。

1. VPSが必要になるのは、どんなとき？

やりたいこと	Cloudflare・Supabase（E5）で足りる？	VPSが向く？
ホームページ・案内ページを公開する	足りる	不要
台帳・予約などの、データを貯めるアプリ	足りることが多い（Supabase）	特別な事情があるとき
24時間動き続ける処理（定期実行・通知・連携）を、自由に作りたい	無料枠の制限（処理時間・回数）に当たることがある	向く
特定のソフト・言語・OS・ポートが必要	対応できないことがある	向く
既存のWebアプリ（PHPなど）を、そのまま移したい	作り直しが要ることがある	向く
外部のサービスと、決まった接続先（固定のIP）でつなぎたい	難しいことがある	向く

VPS と、「レンタルサーバー」の違い

レンタルサーバー（共用）は、事業者がOSや防犯を管理してくれる、決まった型の貸し部屋。VPSは、**OSの管理者（root）権限を持つ、自分専用の環境で、自由度が高い**。そのかわり、**設定・更新・防犯を、自分でやる**。自信がなければ、まずE5のサービスか、レンタルサーバーを検討する。

2. Xserver VPS の、サービスの種類（公式の情報・2026年10月時点）

	XServer VPS（従来）	XServer VPS クラウド（新サービス）
受付	新規受付は一時停止中（2026年9月17日～、再開は11月中の予定）	受付中（2026年8月31日開始）
向き	1台構成（Web・開発・ゲームなど）	1台から、複数台構成まで。サーバー同士をつなぐ私設ネットワーク、データベースサーバー、ロードバランサーなどを足せる
料金（4GBの例）	公式の料金一覧で確認（受付の再開後）	4GB（50GB）：月額2,480円（1か月契約）／2,068円（12か月契約）、税込 。通信量や時間の従量課金は無し（3章の表）
バックアップ	自動バックアップは、標準では付かない（オプションなど。公式で確認）	日次の自動バックアップが標準 （最大7日分）
ビジネスプラン（法人向け）	稼働率保証（SLA）・自動バックアップが付く、法人向けのプラン（受付停止の対象に含まれる）	—
API（自動操作）	—	未提供（今後の予定）

料金・キャンペーン・受付状況は、頻繁に変わる。申し込み画面と、公式のお知らせで必ず確認する。ビジネスプランの内容は、販売パートナーの解説にもとづく（公式ページで確認）。

3. XServer VPS クラウドの料金・オプション・構成例（公式カタログ・2026年8月31日更新版・税込）

いま申し込める「XServer VPS クラウド」の内容。料金は、VPSは12か月契約時の月額換算で、ほかのオプションは1か月契約の月額。当月分は日割りになる（カタログの注記）。

VPS（ストレージの違う2タイプから選ぶ）

メモリ	vCPU	NVMe SSD と 月額（12か月契約時）
4GB	4コア	50GB：2,068円～／200GB：3,100円～
8GB	8コア	100GB：3,784円～／400GB：5,676円～
16GB	12コア	100GB：8,167円～／800GB：12,250円～
32GB	18コア	100GB：20,475円～／1,600GB：30,713円～
64GB	32コア	100GB：40,950円～／2,400GB：61,425円～
128GB	48コア	100GB：81,900円～／3,200GB：122,850円～

小さなWebアプリなら、まず4GBで十分なことが多い。1か月契約の4GB（50GB）は、月額2,480円（公式サイト）。

有料オプション

オプション	ひとことで	月額の例
DBサーバー	PostgreSQL または MariaDB の、データベース専用のサーバー。 OSなどは、エックスサーバーが管理（rootは付かない）	10GB：1,441円／30GB：2,480円／60GB：4,961円～
DBの自動バックアップ	日次・最大7日分	10GB：220円／30GB：660円～
L4ロードバランサー	アクセスを、複数のサーバーに振り分ける	スタンダード 3,300円／ハイスペック 6,600円
NFS	サーバー間で共有する、保存場所	30GB：1,790円／100GB：5,951円～
追加IPアドレス	IPv4アドレスを足す	400円／1個
ネットワーク帯域拡張	通信の太さを広げる	300Mbps 5,500円／500Mbps 8,800円
イメージ保存容量の追加	VPSのイメージ（まるごとの保存）を置く容量。50GBは標準で付く	1,650円／500GBあたり

「おまとめ自動セットアップ」：構成を選ぶだけ（月額が目安）

構成	中身	向く用途	月額が目安
小規模・検証用	VPS 4GB 1台+DB 10GB	WordPress、データの管理、小さなアプリ	3,509円
機能ごとの分離	VPS 4GB 2台	アプリ用・バッチ用・管理用など	4,136円
標準的なサイト	VPS 2台+DB+ロードバランサー	Webサーバー・APIサーバー	8,877円
ファイルのバックアップ	VPS+NFS 100GB	データのバックアップ、ログ集計	8,019円
本番とテスト環境	VPS 3台+DB+ロードバランサー	修正を、テスト環境で試してから、本番へ	10,945円
安全なファイル共有	VPS 2台（VPN用）+NFS 100GB	社内ファイルサーバー	10,087円
セキュリティ重視	VPS 3台+DB+ロードバランサー+NFS（運営者専用のVPN経路）	基幹業務システム、ECサイト	16,896円
負荷耐性重視	VPS 2台+DB+ロードバランサー+NFS	画像・メディアの配信	14,828円

構成例は、最小の注文内容。はじめての方は、「小規模・検証用」か、VPS1台から始めて、必要に応じて足す。

標準で付く機能

- **管理者（root）の権限**：VPSには、全プランで付く（DBサーバー・NFS・ロードバランサーには付かない）。
- **通信量は無制限**：従量課金や維持調整費は無い。ただし、回線は共有で、1契約あたり最大100Mbps（オプションで拡張）。
- **自動バックアップ**：VPSのデータを、1日1回、最大7日分。復元は、管理画面（コントロールパネル）の操作で行える。
- **イメージ保存**：その時点のVPSを、まるごと保存できる（50GBまで無料）。
- **防犯の機能**：パケットフィルター（ポートの開閉、接続元の制限）、SSH鍵（秘密鍵と公開鍵。申し込み時に自動生成できる）、管理画面の二段階認証。
- **操作**：ブラウザからのコンソール（リモート接続できないときも、管理画面から直接操作できる）。独自ドメインのDNS設定。無料のサブドメイン（example.xvps.jp のようなURL）で、すぐにテスト公開できる。
- **OS・アプリのひな形**：OSイメージと、セットアップスクリプト（Docker、WordPress、KUSANAGIなど）から選べる。
- **支払い**：クレジットカード、あと払い（ペイディ）、プリペイド決済。
- **サポート**：メールは24時間365日。電話は平日10時～18時。

はじめての人が、見落とししやすい点（カタログの注記）

- **DBサーバーの設定・保存データ・バックアップは、お客様の管理。**自動バックアップは、有料のオプション（上の表）。付けない場合、自分で取る。
- **NFS（共有の保存場所）には、お客様が任意に復元できるバックアップ機能がない。**大事なデータの、唯一の置き場にしない。
- **プランの変更は、「ストレージが、いまと同じか、大きいプラン」にだけできる**（小さくはできない）。最初に大きすぎるタイプを選ぶと、戻せない。
- 料金は、12か月契約時の月額換算で表示されている。**月ごとの契約より、年間の契約のほうが、月額は安い**が、期間の縛りがある。
- 「大手のクラウド（IaaS）のように、部品を自由に組み合わせる」ものではなく、**導入の速さと、費用の分かりやすさ**を重視したサービス（エックスサーバーの説明）。

4. 契約する前の確認

☐ 確認すること

- ☐ E5（Cloudflare・Supabase）では、本当に足りないか、AIに確認してもらった
- ☐ OSの更新・防犯・バックアップを、自分（または担当者）が続けられるか
- ☐ 個人情報・お客様のデータを置くか（置くなら、法人向け・バックアップ・SLAを検討）
- ☐ 独自ドメインを、どこで管理しているか（DNSの変更の権限）
- ☐ メモリの量（まず4GB程度）と、ストレージの量（あとで小さくはできない）
- ☐ DBを使う場合、バックアップをどうするか決めた（有料オプション、または自分で取る）
- ☐ 支払い方法（カード・あと払い・プリペイド）と、契約の期間（1か月／12か月）を決めた
- ☐ 公式のお知らせで、受付状況を確認した
- ☐ 鍵の置き場所を決めた（E6）

5. 契約直後に、必ずやること：防犯の初期設定

VPSは、入り口（ポート）を開けた瞬間から、世界中の攻撃の対象になる（エックスサーバーの公式の解説）。契約直後の設定が、最も大切。公式の手順は、次の3つ。

1

1 OSとソフトを、最新にする

古いままだと、すでに知られている弱点を、突かれる

2

2 安全に、遠隔操作できるようにする

管理用の一般ユーザーを作る／パスワードではなく、**鍵（公開鍵認証）**で入る／**管理者（root）での直接のログインを禁止**

3

3 ファイアウォール（パケットフィルター）

必要なポートだけを開ける（遠隔操作、Webの公開用）。契約直後は、すべての接続を拒否する設定

「パスワードで入れる」「rootで入れる」状態を、放置しない

サーバーの乗っ取り（データの流出、暗号資産の採掘への悪用、他者への攻撃の踏み台）は、**初期設定の甘さ**から起きる。作ったサーバーが乗っ取られると、**お客様への信頼と、業務のすべてを失う**。AIに任せるにしても、上の3つは、**人が、設定されたことを確認する**（関所。E2）。

6. Webアプリを設置する流れ

1

1 契約・OSの選択

公式が用意するOS・アプリのひな形から選ぶ（Ubuntuなど）

2

2 防犯の初期設定

4章

3

3 アプリを置く

手元で動いたものを、サーバーに置く。まず、確認用の環境で

4

4 ドメインとHTTPS

ドメインを向ける（DNS）。通信を暗号化する

5

5 バックアップ・見守り

データの保存先、更新の予定、動いているかの確認

AIエージェントに、設置を手伝ってもらうとき（コピーして使う）

コピーして使う

「作ったWebアプリ」を、VPS（Ubuntu）に設置したいです。いきなり操作せず、まず手順を提案してください。

条件：

- ・サーバーに入るのは、私がするか、1コマンドずつ内容を説明して、私の承認を得てからにしてください。
- ・管理者（root）で作業しない。管理用の一般ユーザーと、公開鍵認証にしてください。パスワードでのログインと、rootでのログインは、禁止にしてください。
- ・ファイアウォールは、必要なポート（遠隔操作・Web）だけを開けてください。
- ・鍵・パスワードは、チャットにも、ファイルにも書かない。保管の方法を提案してください（金庫を使う）。
- ・消す操作、権限を変える操作、設定ファイルの書き換えは、実行前に、何がかわるかを説明してください。
- ・作業の前に、サーバーの状態（バックアップがあるか）を確認してください。

AIに渡してはいけないもの

- ・ **秘密鍵（サーバーに入るための鍵）**と、パスワード。チャットに貼らない（E6）。
- ・ サーバーの管理者（root）の権限。必要な操作だけ、1つずつ、人が承認する。
- ・ お客様の実データ（赤の情報。D1）。

7. 動かし始めたあとの運用

頻度	やること
毎月	OS・ソフトの更新を適用する。動作を確認する

頻度	やること
毎週	バックアップが取れているか確認する。ディスクの空き、動いているかを確認する
半年ごと	使っていないポート・ユーザー・鍵を、整理する。鍵の棚卸し（E6）
異常があったとき	慌てて操作を重ねず、状況を記録する。必要なら、サーバーをいったん止め、鍵を入れ替える（E6）

8. お申し込み：エックスサーバー VPS（取次店のお申し込みフォーム）

講師の紹介リンクから、お申し込みの場合（広告）

下のリンクは、エックスサーバーの申し込みページです。講師は、エックスサーバーの**取次店**で、この「申し込みフォーム」のリンクを使ってお申し込みいただくと、**講師に、取次の報酬（紹介料・手数料など）が支払われる場合があります**。お客様への特典の有無・内容は、お申し込みの画面で、エックスサーバーの案内を確認してください。

XServer VPS（標準プラン）のお申し込みフォーム

広告。新規受付は一時停止中（再開は11月中の予定）

XServer VPS（ビジネスプラン・法人向け）のお申し込みフォーム

広告。新規受付は一時停止中（再開は11月中の予定）

公式のお知らせ（受付状況の確認）

再開の日付は、[ここで確認](#)

XServer VPS クラウド（公式・直接お申し込み）

いま受付中。広告ではありません（講師の取次店フォームの対象外）

受付停止の間は、上の2つの申し込みページを開いても、お申し込みができない場合があります。いま申し込めるのは、**VPS クラウド（直接のお申し込み）**です。取次店のリンクを使うかどうかは、自由です。

関連資料

- E5 SupabaseとCloudflare … まず、ここで足りるか確認する
- E6 APIキー（秘密）の扱い … 鍵をサーバーに置かない・金庫に置く
- E2 ハーネスエンジニアリング入門 … 関所と事故から生まれたルール
- E4 Gitの導入と設定／D1 信号機ルール

出典（2026年10月確認）

- 『XServer VPS』新規受付の一時停止のお知らせ（エックスサーバー・2026年9月17日）(https://vps.xserver.ne.jp/support/news_detail.php?view_id=19471)：全プラン、再開は11月中の予定
- XServer VPS クラウド（エックスサーバー）(<https://vpscloud.xserver.ne.jp/>)：料金、日次自動バックアップ、複数台構成
- XServer VPS Cloud開始（VPSニュース・2026年8月31日）(<https://vpshikaku.com/news/vps/vps-2026-08-31-xserver-vps-cloud-launch/>)：従来のVPSとの違い、APIは未提供（二次情報）

- XServer VPSの契約直後に対応すべきセキュリティ対策（エックスサーバー） (<https://vps.xserver.ne.jp/vps-media/initial-security/>) : OS更新、公開鍵認証、root禁止、パケットフィルター
- XServer VPS クラウド 料金（エックスサーバー） (<https://vpscloud.xserver.ne.jp/price/>) : 3章の料金・オプション・構成例（カタログ 2026年8月31日更新版にもとづく）
- XServer VPS クラウド 対応OS一覧（エックスサーバー） (https://vpscloud.xserver.ne.jp/functions/os_images/)
- XServer VPS（エックスサーバー） (<https://vps.xserver.ne.jp/>)
- XServer VPSの「ビジネスプラン」を徹底解説（販売パートナー） (<https://sabameijin.com/xserver-vps-business/>)（ビジネスプランの内容。二次情報）